

2025年2月3日

長野県知事
阿部守一様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

2月県議会に向けた申し入れ

- 1、県道の痛みが多い、補修を進めてほしいといった声、また修復の遅れを指摘する意見が多数寄せられています。維持管理予算を増やし、早期の修復をすすめてください。
- 2、コロナウイルスやインフルエンザに対する感染予防対策を変わらず行わなければならない医療機関・介護事業所は、キャップや防護服などの費用がかさみ、経営困難に陥っています。クラスターにより受け入れ制限せざるを得ない事案も発生しています。かかり増し経費支援の復活と、クラスター発生時などの空病床損失への支援などを実施してください。
- 3、県内のガソリン価格が1月16日以降さらに上がり、全国最高水準の状況が続いています。県はこれまで県内のコスト増の要因を分析し結果を公表してきました。また、1月の補正予算で生活困窮者に対するガソリン等を支給する事業の実施を決定しました。しかし多くの県民にとって、価格高騰に苦しめられている現状は変わらず、納得していません。関係団体と連携し、有効な高騰対策を早急にすすめてください。引き続きガソリン代の地域間格差をなくすよう国に強く求めてください。
- 4、青森県が記録的な大雪に見舞われました。長野県も過去に豪雪災害によって農作物や農業施設等の被害、県内高速道路や直轄国道で通行止めなど通行規制が生じたこともあります。雪害対策強化に努めてください。除雪の担い手の確保支援について、国は新たな雪対策のための交付金制度など支援を拡充していますが、住宅除雪支援員の手当引き上げなど、県も独自に支援を強めてください。
- 5、SNSでの巧妙な勧誘による「闇バイト」で、犯罪に手を染めていく若者が後をたちません。危害を加えたり殺害まで行うなど凶暴性も目立ち、社会に不安が広がっています。新たな加害者を生まないために、危険性の周知をはじめ、県としても県警などと連携し、社会全体で闇バイト対策を講じてください。地域での防犯対策も強化してください。